

首切りを許さない 闘う団結を!!

第11次全国統一闘争を成功させ 「分割・民営」化阻止闘争の 大きなウネリを作ろう

革マル右翼分子による国労 破壊攻撃を弾劾する『国労東 京青年部ニュース』(カ、オ三三三号)

次頁料

国労組織の破壊をくりかえす

「ニセ国労」を許すな!

デマとウソとオドシの「ニセ国労」

私たちの国鉄分割・民営化阻止の闘いのウネリが拡大している今日、政府・自民党・国鉄当局・動労・鉄労・全施労は、一体となって「雇用を守る」という名目のもとに国鉄労働組合への集中した組織破壊攻撃を強めている。「利するものはペン師中曾根と杉浦」であり、そのタイコ持ちを演じているのがあの「松崎(動労)・志摩(鉄労)・杉山(全施労)」の三氏である。その手下として動かされているのが今回の上野支部を中心とした

「動労系組合員」の分裂工作としての「動労への脱退加入」「真国労」(ニセ国労)の「誕生」(?!)である。私たち一人ひとりの組合員の組合でないことは、時間がたつにつれて「仮面」がはげてきていく。まさにウソとオドシの「ニセ国労」である。私たちは、「分割・民営化阻止」に向けてガッチリとスクラムを固め、国鉄労働組合の旗のもとに結果として「勝利の展望」を一人ひとりのものにしていくにはありませんか。

ウソとデマで 固めた「雇用を守る」論

国労上野支部内の一部「革マル」派と呼ばれる者たちは、運送のみならず、営業・施設などの系統にまで手を伸ばしてウソとデマで固めた「組合」をデッチ上げようとしています。その言いは、「国労」にいては「雇用」を守れない。「運動なら動労」「営業は「新組合」を作る」「施設なら全施労が良い。」等々をふれ回っている。しかし、この主張には大きなウソがある。もし、本当にそう思っているなら自分達だけで行動すれば良いのであるが、彼らは、大「ウソ」をつきまわし、他組合員に呼びかけ動揺を拡大させているだけであり、労働者の団結力を弱体化させる行動に出ているのである。ウラで当局と一体となって一部の「主謀者たち」の「自己保身」にちなまくなっている。

特に動労、鉄労、全施労は当局と歴史的な汚点となる「労使共同宣言」を結んだ、ここでいっている「雇用を守る」は、「当局の言いなりになって、合理化に従い派遣に積極的に応じる」ということなのです。事実、動労や鉄労の役員は、派遣される組合員に対し、「国鉄に戻るといいことではなく、骨を埋める覚悟で行ってくれ」と言っているのです。

また、「管理者の言うことを守れ」とも言っている。その理由は、「(当局・組合に?) 逆らうと

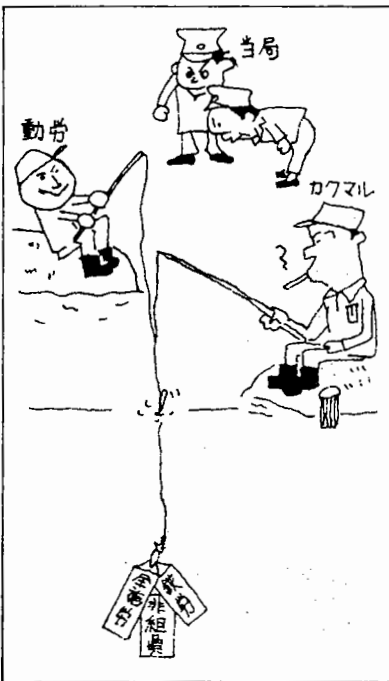
組合員を当局のエシキにする 「ニセ国労」粉砕!

今回の組織破壊攻撃の本質は、国鉄当局の「労働組合の体質改革(職員意識改革)」と労働組合の組織整備とを並行的に実行する攻撃の一端として展開していること。特に「国労組織」の「機能を低下、破壊」といった段階と入っているわけです。そして一人ひとりの組合員の「選別・差別」の貫徹であり、職場の民主主義の破壊であるわけです。①三月中旬から「広域配転」強行、②「職員管理調査」の強行、③七万人規模の一大教育研修(新マル生)の強行(一五日から二四日にかけての募集、四月下旬から九月にかけて五カ月間にわたって鉄道学園で実施)など具体的な攻撃が展開されているわけです。その「先兵」(当局の手さき)となっているのが「ニセ国労」の存在の今日の役割であるわけです。今、当局は八王子支部内での「分会の役員・活動家を中心に「強制配転」を中心として、狙い打ち攻撃がかけられている。中央線合理化の一方実施にともなう配転では、本人の意に反した配転が強行されている。たとえは国分寺駅の場合、当局は「登用であり、問題はない」と述べているが、新宿駅要員センターへの配転である。「登用」というからには、そもそも、職性と職務内容が明らかにされなくてはならず、はじめから「過員」扱いの「登用」までありえないことは明白である。本人が「現分会長」であり、分会の役員クラス、青年部の活動家をネライ、組合弱体化を狙ったものである。

動労加入者は、休みを返上 連日オレンジカード販売?

今回の運動現場での「脱退工作」で三月に大宮運動所で動労に移った三名の仲間、浜松の鈴木自動車に派遣となり、近くの寮に単身赴任という始末である。また八王子機関区で、動労にだまされて移った組合員は、動労の役員から「身の証をたてるために派遣に行け」と言われて驚いてしまったのである。

このような例は、どこの職場でも起きているばかりでなく、大宮客貨車区でダマされていた仲間、非・公休・非番を返上し、駅頭で「自主的に」「オレンジカード」を売り歩くといった労働基準法さえ無視したことを組合員に強制しているのである。当然にも一名の仲間、すぐ復帰す



連中は、自分の利益にするため、他の組合員も道連れに国労から引強て行こうとしている。動労へ入れ、派遣に行ったほうが良い、動労がだめなら鉄労・全施労へそれでもだめなら、非組合員でもいいじゃないかと、誘い回っている国労にいたらいいことはない、昨日までいた国労をまるで悪者扱いだ。三〇〇〇万の国民の声を、簡単に裏切る連中なんて信用できねーよな。(B・組合員)

国労の旗のもとに総団結しよう!